

(別紙2)

2. 目標達成計画

事業所名 グループホーム 杜の里

作成日 平成 23年 5月 18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	勉強会や看護師の指導により、利用者の急変や事故時に備えているが、各々の職員の経験や能力が異なる為、全ての職員が実践力を身に付けているとはいえない。	全ての職員が、急変や事故発生時の的確な対応の重要性を理解し、その実践力を身に付けることができる。	1. 各々の利用者と考えられる急変や事故及び対応について、定期的な職員会議で話し合う。 2. 急変や事故発生を想定した救急訓練を行う。	6ヶ月
2	36	職員の就業年数や利用者と関わる年数が増すにつれ、暮らしを共にする関係が築けているが、馴れ合い過ぎることなくプライバシーを確保していくことが必要である。	利用者一人ひとりの人格や個性、プライバシーに配慮した関わり合いが継続できる。	1. 職員は初心に帰って思い込みを捨て、利用者一人ひとりに対する関わり方を振り返り、気になることは注意し合って、職員会議でも話し合う。	6ヶ月
3	33	看取りの指針はあるが、ターミナルケアについて職員間での共通認識が十分に図れていない。	認知症高齢者の終末期ケアの目的を理解し、終末期ケアの体制作りができる。	1. ターミナルケアに関する外部研修へ参加し、定期的な勉強会を開催する。 2. 看取りの連携マニュアルを作成する。	12ヶ月
4	20	月日の経過に伴う利用者の馴染みの人や場所との関係性の変化に配慮した支援が十分でない。	入居前からの馴染みの人や場所の関係だけでなく、新たに築かれた関係も継続できるよう支援する。	1. 利用者一人ひとりを取り巻く人や場所との関係性の変化や現状の思いを把握する。 2. 利用者が大切にしている方との関わりや交流が持てる機会を作る。	12ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。